

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日

令和元年12月23日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490100421		
法人名	JTS株式会社		
事業所名	グループホーム樹		
所在地	〒739-1751 広島市安佐北区深川1丁目42-23		
自己評価作成日	令和元年11月17日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3490100421-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和元年12月3日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

施設は、田んぼや畑、山々の様子で四季折々の背景が楽しめる自然に囲まれた住宅街に立地しています。近隣にはスーパーもあり、散歩を兼ねて買い物に行かれる機会もあり、楽しみの1つになっています。毎日の生活の中での役割、行事・活動での料理作りや花を育てたり、皆さんで分担しながら助け合い積極的に取り組み、生きがい・やりがいを感じて頂いています。地域の方を招待して交流を図る場や、家族様同士での会話の場を設けたりと、ご利用者様、ご家族様、地域の方、職員、皆さんで協力し支え合い、笑顔溢れる地域に密着し開かれた施設を目指しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

会社の理念を基に、事業所理念の見直しを行い、感謝の気持ちを大切にしていき、利用者の尊厳を遵守することを掲げ利用者個々の思いに一つひとつ寄り添い、温かく見守ることや役割、活動を支援する実践を行っている。職員間でも話し易く意見があげやすい職場環境となるよう努めており、職員個人の意欲の向上にも反映され更なる支援の展開に繋がっている。看取りも入所時に意向を確認し、それ以降も毎年定期的に確認し、その時々思いを大切に汲みとりできるだけ最後まで過ごして頂けるように取り組んでいる。障害者就労支援にて利用者個人の喜びになり、作品作りのサポートなど生きがいの活動に繋がっている。近隣にはスーパーがあり散歩がてら買い物に行ったり、近郊の同法人の事業所と協働もあり、地域との関わりや交流を深めている。

自己評価	外部評価	項目(楓フロア)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	朝礼で理念の唱和することで、動機付けを行っている。また、事業所会議を通じて理念についての自己への振り返りを図るとともに、事業所全体の意識づけへとつなげている。	会社全体の理念と運営方針を基に、昨年度より職員全員で考え事業所理念の見直しを行い周知、実践に努めている。感謝の気持ちを大切にし、個人の尊厳を重視した検討をしており、利用者の行動を最後まで見届ける、見守る支援を実践し信頼関係を構築するよう関わっている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	ご利用者様との散歩の際や、洗濯物干しなどで地域の方々とお会いさせていただく際には、職員より積極的にご挨拶させていただいている。また、地域の行事への参加で交流を図り、事業所の行事への参加を回覧板や掲示を通じご案内をさせていただいている。	日頃の散歩や洗濯物を干す際に地域の方に挨拶を行うなど日常でのふれあいを持っている。とんどやお神輿など地域行事にも参加を行う他、納涼祭やもちつきに地域の方に来てもらい交流を深めている。納涼祭では縁日が開かれ多くの子供たちが足を運び世代間交流を行っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	事業所内で開催する行事に、地域の方々にご参加いただき、ご利用者様と触れ合うことで認知症への理解を図っている。また、地域の行事や日頃の挨拶なども通じて、ご利用者様と触れ合っていたきながら、自然に認知症への理解へとつながっていると考えている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	定期的に2か月に1回、運営推進会議を開催している。会議には、ご利用者様やご家族様、町内会副会長や地域住民の方、地域包括支援センターの方々参加をされている。事業所での取り組みや外部から事業所への課題についてもお話をいただき、事業所会議等で職員にも周知している。	会議には利用者・家族、自治会長・自治会副会長、地域包括支援センター職員が参加し定期的に開催され、活動の報告を行い、地域の情報や行事の案内など活発な意見交換を行っている。会議で避難訓練を実施したり、身体拘束等適正化の報告も随時行うなど取り組みがある。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	地域包括支援センターや居宅支援センターの方々と日頃からコミュニケーションを図り、ご利用者様や新規ご利用者様への働きかけなどをご相談させていただいている。また、介護サービスへの疑問や不明への確認や、報告をさせていただいている。	区へ必要に応じて確認や相談を行い、空き状況も定期的に情報を伝えている。市のいきいきポイントの申請を行い地域の方に足を運んでもらえる様にし、会社独自の福福カードという地域の方などへ来所の活動でポイントが付く取り組みを行い、地域包括支援センターからも地域の方に情報提供してもらっている。	

自己評価	外部評価	項目(楓フロア)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	事業所内の勉強会を通じ、定期的に身体拘束について職員間で意識統一と意識付けを行っている。日頃の業務中に不適切なケアになっていないかなど、フロアの主任が中心となりフロア会議などを通じて、振り返りを図っている。	年2回事業所での勉強会にて身体拘束防止について理解を深めている。日頃のケアの中でも言葉掛けを意識しており、利用者の納得が得られる言葉掛けを心がけ実践している。フロア会議や身体拘束適正化委員会にて振り返りを行い、身体拘束をしないケアに尽力している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	事業所内の勉強会を通じ、定期的に虐待の防止について職員間で意識統一と意識付けを行っている。日頃の業務中に不適切なケアになっていないかなど、フロアの主任が中心となり振り返り、管理者は職員の思いにも寄り添えるように、日頃からコミュニケーションを図り、個別面談をおこない体制づくりに努めている。	/	/
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	各研修への参加などをこれからも行っていくとともに、必要に応じて各関係者とも連携を図り、ご利用者様やご家族様などからもご質問や疑問の相談に応じられるように努めている。	/	/
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約書を基にご説明等を行い、ご不明な点や疑問にも、気軽にご相談いただける様に、分かりやすい言葉を選び、環境づくりを行っている。	/	/
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご利用者様からは、日々の生活の中からお話がいただけるように、言葉かけをさせていただき、ご家族様には、ご面会時の言葉かけや家族会へのご参加時に思いをいただいている。いただいた内容は、職員間で共有しご希望や要望に対して、対応できる範囲はどこまでかを話し合い対応している。	利用者からは日々の関わりより意向を伺える様に声掛けにも配慮している。昔市内でよくご飯を食べに行っていた方に個別外出にて外出に出かけ縮景園を散策し喜ばれたりと個別に目を向けた取り組みがある。年2回の家族会では半数以上の参加があり意見や要望を伺う機会となっている。	

自己評価	外部評価	項 目(楓フロア)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月の事業所会議やフロア会議、日々の言葉かけを通じて、意見や思いを受け入れられる体制づくりを行っている。主任へ相談し、管理者へ相談があがることもある。不安を抱える職員に対しては適宜面談を行い、全職員に対しては、年に1回は面談日を設け、働きやすい環境づくりに努めている。	事業所会議やフロア会議、日々の業務内において意見や思いを伝える他、各ユニット主任を通して相談があがるなど職員個々の思いを汲みながら行える体制が整っている。業務の見直しや利用者への対応について意見が多くあがり反映されている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	管理者や主任、職員から職員個々の努力や実績の報告などを聴き、また自己評価などとすり合わせながら、日々の業務の中での職員状況を把握し、日々のコミュニケーションや個別面談を通じて、働きやすい環境づくりが整うよう努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	事業者外部への研修を職員個々の状況に合わせ受講していただき、スキルアップにつなげている。回覧などを活用して職員個々でも参加できる研修への働きかけを行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	各研修や勉強会への参加をすることにより、事業所外からの学びを基に、事業所会議やフロア会議などで職員間で共有し、サービスへの活用を図り、より質が高められるように努めている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	ご本人様よりいただくお話を、アセスメントシートをもとに整理しながら、またご本人様からの思いを引出し、要望や不安を解決でき不安なく生活していただけるように努めている。		

自己評価	外部評価	項 目(楓フロア)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ご家族様には、ご利用を開始する前に事業所の見学をしていただき日々の様子を感じていただき、施設見学の後には、ご相談を受け現時点での不安やお困りごとなどを伺っている。サービスを開始する際には、改めてのご要望や不安などをお伺いし、より安心していただけるよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご家族様には、ご利用を開始する前に施設見学をしていただいた後に、お話を聴く場を設けることにより、現時点での支援についてを把握します。サービス開始時点では改めてご要望や不安などをお伺いし、より安心していただけるようなサービス内容になるよう努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	日常生活の中で、ご本人様が出来る事をお話ししながら、協力しながら共助を築いていけるように努める。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご面会時や、月一度の近況報告によりご本人様がここでの生活を安心して穏やかに過ごしていただけるように、ご家族様にも協力をいただいて、支援していけるように努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	入所前に通っておられた場所へ外出されたり、地域の馴染みの場所への参加を継続していけるように努めている。	昔行っていた場所へ行くことができるよう個別外出を行い、墓参りなども家族の協力を得ながら個人の思いに添えるように支援を行っている。近所のスーパーへ買い物に行くことも馴染みとなっており、そこからトイレの訴えがない方が店舗でトイレに行かれたりと変化もみられた。	

自己評価	外部評価	項目(楓フロア)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	顔馴染みの方々が外出の際にお部屋まで呼びに行ってくださったり、病気になった際には心配をされて訪室されようとしている。毎日の習慣として、お盆拭きや掃除、立ち上がり訓練などを通じて、他者を思いやる言葉をお聞きすることがある。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	サービスが終了しても、地域での関係性は継続していただだけ、ボランティアを紹介していただいたりと、繋がりを持ちながらご相談や支援をさせていただいている。		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人様が何に困っておられるのか、何を不安に思っておられるのかを、会話や言動・行動などを通じて、理解をしたいという思いを忘れずに職員間で声をかけあい、または事業所会議やフロア会議などからも発信し、全職員の共通認識できる面は周知に努めている。	利用者の様子をみながら一人ひとりと丁寧に対峙し、会話や表情・しぐさ等から個々の思いを汲み取り、連絡ノートに記載し職員間で共有している。居室担当がより関わりを深く持ち詳しく思いを把握できるように努めている。2ユニット合同で申し送りを行い情報を共有し職員全員が周知できるようにしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	生活歴をもとに、今のサービスがご本人様にとって安心の出来るものなのかを念頭に置き、現状からより良いサービスが提供できるように、ご家族様からも情報をいただきながら努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日々の生活を通じて、体調不良の早期発見や継続しての状況把握など職員間の情報交換も大切にし、申し送りや連絡ノートを通じて職員への周知を図っている。		

自己評価	外部評価	項 目(楓フロア)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>居室担当者を柱として定期的にモニタリングを行い、ご本人様を中心にご家族様からの思いを含め、多職種とも協働しご利用者様が安心してサービスが受けられるような計画の検討を行っている。</p>	<p>家族に面会時や電話連絡にて意向を確認し、居室担当者が利用者の希望や思いなど掘り下げ把握していき、他の職員からの情報やモニタリングをふまえて、担当者、主任、計画作成者で作成している。医療との連携をとり検討もしており、自身で居室掃除をするなど役割を意識したプラン作成を行っている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の生活やケアに関して、生活記録・看護記録に分けて記入し、申し送りを中心に情報の伝達をおこなっている。状況によっては、適時カンファレンスフロア会議を開催するように、努めている。</p>	/	/
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>ご本人様の思いを柱として、ご家族様にご相談させていただき、他の医療機関や他のサービスを活用しながら、事業所で安心して生活を継続していただけるように、努めている。</p>	/	/
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域行事への参加を始め、地域ボランティアの来訪などを通じて、地域の方々と触れ合うことにより、適度な緊張感に合わせ「楽しかった」という気持ちが継続的に持てるように、努めている。</p>	/	/
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>入所前からのご利用されていたかかりつけ医が継続して訪問していただいたり、通院を継続していただいたり、ご本人様とご家族様が納得して生活を継続していただけるように、医療機関とも連携を図っている。入所前のかかりつけ医と情報交換を図りながら、適切な医療の提供に努めている。</p>	<p>月2回協力医の往診がある。入所前からのかかりつけ医も継続でき、利用者それぞれの思いに添える形で支援がしている。専門医への受診支援や訪問歯科、訪問看護との連携を行い、適切に安心して医療が受けられる体制を取っている。</p>	

自己評価	外部評価	項 目(楓フロア)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	日々の観察を基に、「いつもと違う」変化に気づきあえるよう、申し送りや職員間でのコミュニケーションを図り、変化時には訪問看護との連携を密に図っている。 訪問看護師との、報告・連絡・相談を継続して努めている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院された場合には、提携先病院を始め、かかりつけ医からの指示により通院、入院となるため、ご本人様、ご家族様もより安心した医療を受けることができる。 加療中にはご家族様からや、病院先に出向き状況把握に努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	ご契約時に、事業所の方針についてご説明をさせていただき、看取りについての意志を伺っている。定期的に改めて、意志のご確認をさせていただきながら、かかりつけ医や医療機関との連携体制を整え、支援体制にも努めている。	入所時に看取りに関する指針を説明し、年1回状態に変化がなくとも定期的に看取りに関して思いを確認している。看取りの状態になった時にはカンファレンスを行いその時々のお思いをしっかりと受け止めた対応をしている。最近でも2件の看取りを行った。看取り後には振り返りを行い次に繋げている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	事業所内の勉強会を通じ、職員間で意識統一と意識の確認を行っている。外部講習会などにも参加し、実践力を培い新たに事業所に持ち帰り職員間でも共有にも努めている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	定期的に消防署に依頼し、訓練を実施している。水災害の危険がある区域のため、指定避難場所の確認や協力施設の増大を図る。早期の対応ができるように、職員間でも次情報収集に努めるとともに、訓練などを通じて、災害時には対応できるように努めている。	年2回定期的に訓練を行い、訓練では消防署立会いの下、地域の方にも呼びかけ参加を得たり、町内会長とも連絡をとることなど地域と話を行うことで相互理解に発展させている。近隣の特別養護老人ホームに災害時の受け入れの協力を得ることや、家族にも協力を働きかけ非常時に対する備えを築いている。	

自己評価	外部評価	項目(楓フロア)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	勉強会を通じ、尊厳・プライバシーについての学びを定期的に行っている。また、フロア会議でも不適切なケアになっていないかなども合わせ、話し合いの場を設けている。フロア主任を柱とし、日々のかかわりの中でも職員間で声を掛け合い、不適切なケアにならない意識づけにも努めている。	年間計画で接遇など研修を行っており、理解や意識の向上を図り日々のケアにも活かせるように尽力している。一人ひとりの状況を連絡ノートや申し送りでも共有し言葉掛けにも尊厳に配慮した対応を心がけている。職員間でもお互いに気を付け声を掛けあっている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ご本人様の発言、行動の観察を日々おこなう中で、変化に気づきご本人様の思いに寄り添いながら、職員間でも情報を共有し、今できる最善のケアでご対応させていただきながら、状況によってはご家族様へのご協力が得られるような支援に努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	ご利用者様一人ひとりの価値観・生活観を尊重し、ご利用者様同士でもお互いのペースが保てられるように、職員が橋渡しをすることにより、ご利用者様も思いに寄り添い過ごしていただけるよう努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	2か月に一度、訪問美容に来院していただいている。ご本人様の思いに寄り添えるように、細かな点まで相談にのっていただいている。ご本人様に伺いながら、季節に合わせた洋服選びに努めている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事前にはメニューのご説明をさせていただき、食器などは陶器を使用することにより家庭的な雰囲気を保っている。食後には、お盆拭きや食器洗いご米とぎなども、ご協力いただけるように努めている。	外部業者の献立により調理された食材を加熱・盛り付けし、汁物を事業所で作り提供している。食事レクを取り入れ利用者の楽しみになっている他、誕生日にはケーキを作りその方が食べたい物を作ることや、希望により外食なども行い雰囲気が変わり楽しみとなる取り組みを行っている。	

自己評価	外部評価	項 目(楓フロア)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>水分チェック表にてご本人様の水分量の把握に努めている。1日1000ccを目安に、ご本人様の嗜好に合わせた水分形態をとりつつも、水分量が安定するように細やかな細かや言葉かけに努めている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>訪問歯科医師によるチェックを実施していただき、口腔内の汚れやすい箇所等を把握し口腔ケアを実施している。自立して口腔ケアを行われる方には、言葉かけを行い清潔に保てるように努めている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄チェック表により、パットでの排泄ではなく、便器での排泄を可能に出来るように、ご本人様のパターンに合わせてトイレへの言葉かけを行っている。定期的にフロア職員が適切な排泄パターンとなっているかを検討しながら、より良いケアへと努めている。</p>	<p>排泄チェック表を基に個人の排泄パターンを掴み個別の状況での声掛けや誘導に努めている。パットに排泄させるのではなくできる限りトイレに座り行える様に排泄のパターンも定期的に検証し、水分摂取状況なども周知し排泄の自立支援に繋がる取り組みに努めている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>水分チェック表にてご本人様の水分量の把握に努めている。1日1000ccを目安に、ご本人様の嗜好に合わせた水分形態をとりつつも、水分量が安定するように細やかな言葉かけに努めている。状況に応じて、排泄を促すように薬の活用にも努めている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>ご本人様のご希望に沿えるように言葉かけをさせていただきながら、午前浴を基本とし入浴を週2～3回、ご提供できるように努めている。</p>	<p>週2～3回午前浴を基本とし、利用者の体調やその日の意向に添って柔軟に対応しゆったりと入浴を楽しんでいた。その時の状態によって入浴も部分浴や清拭など臨機応変に行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項 目(楓フロア)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>日々の生活の中で、適度な運動 を促し過度にならない様に、休 息時間も確保し安眠に繋がるよ うに努めている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	<p>事業者内の勉強会で、ご利用 者様の内服薬の把握に努めなが ら、状況変化などがあつた際 には、かかりつけ医・看護師へ 報告し対応に努めている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。</p>	<p>ご利用者様の生活史からの楽し みに合わせて、中庭の野菜づく りや家事分担などのやりたいこ とに、取り組んでいたような支 援に努めている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地域 の人々と協力しながら出かける ように支援している。</p>	<p>ご本人様の思いを基に、近所の スーパーへの外出支援、行事へ の参加など、ご本人様が求めら れる希望に寄り添いながら、外 出支援に努めている。</p>	<p>日常の散歩で近所に咲いている 花を觀賞し楽しんだり、行事と して花見や紅葉狩り、ふくろう きんさい祭りに参加するなど計 画を立て行っている。利用者 の要望に家族の協力を得ながら 個別での対応を行い、思いに寄 り添う外出支援を行っている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。</p>	<p>嗜好品等の購入の為、地域のス ーパーに出向き、ご本人様の思 う嗜好品の購入ができるように 、支援をしている。いつでも外 出できるように、ご家族様より 預り金をさせていただいたりし 、気軽に出向けるように努めて いる。</p>		

自己評価	外部評価	項 目(楓フロア)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご本人様からの希望に寄り添い、ご家族様やお知り合いなどに連絡を取る機会もある。ご本人様から、依頼されると代筆なども支援している。ご本人様宛のお手紙などは、ご依頼があれば代読などもさせていただいている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	玄関や中庭からなど適度な自然光を取り入れながら、またご家庭で生活をされておられた環境により近づけるように、居室や浴室なども光には配慮している。電車などの音が時折聞こえるが、芸備線地区の方もおられ、親しまれた音を感じることもできている。	フロアは広く中庭からの採光を得て開放感があり、ソファや緑が配置された空間はゆったり過ごすことができる。中庭には花や野菜の栽培が行なわれ利用者が気軽に手入れを行う姿が日常となっている。室内には利用者の季節を感じさせる作品や個人で取り組まれた作品の掲示も多くあり親しみを感ずる空間となるよう努めている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	お一人になりたい際には、ソファやお気に入りの椅子などに腰掛けられるような、空間づくりを行っている。お食事の席が、決まっていることでお一人お一人のスペースを確保することにより、顔馴染みの方との会話も楽しめるようにと努めている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ご利用様が思いをもたれていた家具や仏壇などを居室に置かせていただく事で、ご自分の安全で安心していただけるスペースとして、過ごしていただけている。ベッドが苦手な方には、畳で敷布団での生活をしていただいたりと、ご利用様への生活史に寄り添うように努めている。	居室には自宅で使い慣れたタンスや家具、仏壇など自由に持ち込んでおり、昔の思い出の作品や家族の写真などが飾られ、思い出にふれあえる場所となっている。畳を敷いて過ごしてもらうこともでき、利用者個々に馴染みを持つ居室環境の整備となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	ご利用様一人ひとりの身体状況を把握し、動線には危険なものはない様にしながら、殺風景にならない様に適度な物の配置をしている。ご利用様の状況により、事業者会議やフロア会議などで配置も検討しながら、より良い環境づくりに努めている。		

V アウトカム項目（ 楓フロア ） ← 左記（ ）内へユニット名を記入願います

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(桜フロア)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	朝礼で理念の唱和することで、動機付けを行っている。また、事業所会議を通じて理念についての自己への振り返りを図るとともに、事業所全体の意識づけへとつなげている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	ご利用者様との散歩の際や、洗濯物干しなどで地域の方々とお会いさせていただく際には、職員より積極的にお挨拶させていただいている。また、地域の行事への参加で交流を図り、事業所の行事への参加を回覧板や掲示を通じご案内をさせていただいている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	事業所内で開催する行事に、地域の方々にご参加いただき、ご利用者様と触れ合うことで認知症への理解を図っている。 また、地域の行事や日頃の挨拶なども通じて、ご利用者様と触れ合っていたきながら、自然に認知症への理解へとつながっていると考えている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	定期的に2か月に1回、運営推進会議を開催している。会議には、ご利用者様やご家族様、町内会副会長や地域住民の方、地域包括支援センターの方々が参加をされている。事業所での取組みや外部から事業所への課題についてもお話をいただき、事業所会議等で職員にも周知している。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	地域包括支援センターや居宅支援センターの方々と日頃からコミュニケーションを図り、ご利用者様や新規ご利用者様への働きかけなどをご相談させていただいている。 また、介護サービスへの疑問や不明への確認や、報告をさせていただいている。		

自己評価	外部評価	項 目(桜フロア)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	事業所内の勉強会を通じ、定期的に身体拘束について職員間で意識統一と意識付けを行っている。日頃の業務中に不適切なケアになっていないかなど、フロアの主任が中心となりフロア会議などを通じて、振り返りを図っている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている。	事業所内の勉強会を通じ、定期的に虐待の防止について職員間で意識統一と意識付けを行っている。日頃の業務中に不適切なケアになっていないかなど、フロアの主任が中心となり振り返り、管理者は職員の思いにも寄り添えるように、日頃からコミュニケーションを図り、個別面談をおこない体制づくりに努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	各研修への参加などをこれからも行っていくとともに、必要に応じて各関係者とも連携を図り、ご利用者様やご家族様などからもご質問や疑問の相談に応じられるように努めている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約書を基にご説明等を行い、ご不明な点や疑問にも、気軽にご相談いただける様に、分かりやすい言葉を選び、環境づくりを行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご利用者様からは、日々の生活の中からお話がいただけるように、言葉かけをさせていただき、ご家族様には、ご面会時の言葉かけや家族会へのご参加時に思いをいただいている。いただいた内容は、職員間で共有しご希望や要望に対して、対応できる範囲はどこまでかを話し合い対応している。		

自己評価	外部評価	項 目(桜フロア)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月の事業所会議やフロア会議、日々の言葉かけを通じて、意見や思いを受け入れられる体制づくりを行っている。主任へ相談し、管理者へ相談があがることもある。不安を抱える職員に対しては適宜面談を行い、「全職員に対しては、年に1回は面談日を設け、働きやすい環境づくりに努めている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	管理者や主任、職員から職員個々の努力や実績の報告などを聴き、また自己評価などとすり合わせながら、日々の業務の中での職員状況を把握し、日々のコミュニケーションや個別面談を通じて、働きやすい環境づくりが整うよう努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	事業者外部への研修を職員個々の状況に合わせ受講していただき、スキルアップにつなげている。回覧などを活用して職員個々でも参加できる研修への働きかけを行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	各研修や勉強会への参加をすることにより、事業所外からの学びを基に、事業所会議やフロア会議などで職員間で共有し、サービスへの活用を図り、より質が高められるように努めている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	ご本人様よりいただくお話を、アセスメントシートをもとに整理しながら、またご本人様からの思いを引出し、要望や不安を解決でき不安なく生活していただけるように、務めている。		

自己評価	外部評価	項 目(桜フロア)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ご家族様には、ご利用を開始する前に事業所の見学をしていただき日々の様子を感じていただき、施設見学の後には、ご相談を受け現時点での不安やお困りごとなどを伺っております。サービスを開始する際には、改めてのご要望や不安などをお伺いし、より安心していただけるよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご家族様には、ご利用を開始する前に施設見学をしていただいた後に、お話を聴く場を設けることにより、現時点での支援についてを把握します。サービス開始時点では改めてご要望や不安などをお伺いし、より安心していただけるようなサービス内容になるよう努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	日常生活の中で、ご本人様が出来る事をお話ししながら、協力しながら共助を築いていけるように努める。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご面会時や、月一度の近況報告によりご本人様がここでの生活を安心して穏やかに過ごしていただけるように、ご家族様にも協力をいただき、支援していけるように努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	入所前に通っておられた場所へ外出されたり、地域の馴染の場所への参加を継続していけるように努めている。		

自己評価	外部評価	項 目(桜フロア)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	顔馴染みの方々が外出の際にお部屋まで呼びに行ってくださったり、病気になった際には心配をされて訪室されようとされたりされます。 毎日の習慣として、お盆拭きや掃除、洗濯物干しを通じて、他者を思いやる言葉をお聞きすることがあります。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	サービスが終了しても、地域での関係性は継続していただい、ボランティアを紹介していただいたり、繋がりを持ちながらご相談や支援をさせていただいております。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人が何に困っておられるのか、何を不安に思っておられるのかを、会話や言動・行動などを通じて、理解をしたいという思いを忘れずに職員間で声をかけあい、または事業所会議やフロア会議などからも発信し、全職員の共通認識できる面は周知に努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	生活歴をもとに、今のサービスがご本人様にとって安心の出来るものなのかを念頭に置き、現状からより良いサービスが提供できるように、ご家族様からも情報をいただきながら、努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日々の生活を通じて、体調不良の早期発見や継続しての状況把握など職員間の情報交換も大切にし、申し送りや連絡ノートを通じて職員への周知を図っている。		

自己評価	外部評価	項 目(桜フロア)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>居室担当者を柱として定期的にモニタリングを行い、ご本人様を中心にご家族様からの思いを含め、多職種とも協働しご利用者様が安心してサービスが受けられるような計画の検討を行っている</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の生活やケアに関して、生活記録・看護記録に分けて記入し、申し送りを中心に情報の伝達をおこなっている。状況によっては、適時カンファレンスフロア会議を開催するように、努めている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>ご本人様の思いを柱として、ご家族様にご相談させていただき、他の医療機関や他のサービスを活用しながら、事業所で安心して生活を継続していただけるように、努めている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域行事への参加を始め、地域ボランティアの来訪などと通じて、地域の方々と触れ合うことにより、適度な緊張感に合わせ「楽しかった」という気持ちが継続的に持てるように、努めている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>入所前からのご利用されていたかかりつけ医が継続して訪問していただいたり、通院を継続していただくと、ご本人様とご家族様が納得して生活を継続していただけるように、医療機関とも連携を図っている。入所前のかかりつけ医と情報交換を図りながら、適切な医療の提供に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項 目(桜フロア)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>日々の観察を基に、「いつもと違う」変化に気づきあえるよう、申し送りや職員間でのコミュニケーションを図り、変化時には訪問看護との連携を密に図っている。</p> <p>訪問看護師との、報告・連絡・相談を継続して努めている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院された場合には、提携先病院を始め、かかりつけ医からの指示により通院、入院となるため、ご本人様、ご家族様もより安心した医療を受けることができる。</p> <p>加療中にはご家族様からや、病院先に出向き状況把握に努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>ご契約時に、事業所の方針についてご説明をさせていただき、看取りについての意志を伺っている。</p> <p>定期的に改めて、意志のご確認をさせていただきながら、かかりつけ医や医療機関との連携体制を整え、支援体制にも努めている。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>事業所内の勉強会を通じ、職員間で意識統一と意識の確認を行っている。</p> <p>外部講習会などにも参加し、実践力を培い新たに事業所に持ち帰り職員間でも共有にも努めている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>定期的に消防署に依頼し、訓練を実施している。水災害の危険がある区域のため、指定避難場所の確認や協力施設の増大を図る。早期の対応ができるように、職員間でも次情報収集に努めるとともに、訓練などを通じて、災害時には対応できるように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項 目(桜フロア)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	勉強会を通じ、尊厳・プライバシーについての学びを定期的に行っている。また、フロア会議でも不適切なケアになっていないかなども合わせ、話し合いの場を設けている。フロア主任を柱とし、日々のかかわりの中でも職員間で声を掛け合い、不適切なケアにならない意識づけにも努めている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ご本人様の発言、行動の観察を日々おこなう中で、変化に気づきご本人様の思いに寄り添いながら、職員間でも情報を共有し、今できる最善のケアでご対応させていただきながら、状況によってはご家族様へのご協力が得られるような支援に努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	ご利用者様一人ひとりの価値観・生活観を尊重し、ご利用者様同士でもお互いのペースが保てられるように、職員が橋渡しをすることにより、ご利用者様も思いに寄り添い過ごしていただけるよう努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	2か月に一度、訪問美容に来院していただいている。ご本人様の思いに寄り添えるように、細かな点まで相談にのっていただいている。ご本人様に伺いながら、季節に合わせた洋服選びに努めている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事前にはメニューのご説明をさせていただき、食器などは陶器を使用することにより家庭的な雰囲気を保っている。食後には、お盆拭きや食器洗いご米とぎなども、ご協力いただけるように努めている。		

自己評価	外部評価	項 目(桜フロア)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>水分チェック表にてご本人様の水分量の把握に努めている。</p> <p>1日1000ccを目安に、ご本人様の嗜好に合わせた水分形態をとりつつも、水分量が安定するように細やかな細かや言葉かけに努めている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>訪問歯科医師によるチェックを実施していただき、口腔内の汚れやすい箇所等を把握し口腔ケアを実施している。</p> <p>自立して口腔ケアを行われる方には、言葉かけを行い清潔に保てるように努めている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄チェック表により、パットでの排泄ではなく、便器での排泄を可能に出来るように、ご本人様のパターンに合わせてトイレへの言葉かけをおこなっている。</p> <p>定期的にフロア職員が適切な排泄パターンとなっているかを検討しながら、より良いケアへと努めている。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>水分チェック表にてご本人様の水分量の把握に努めている。</p> <p>1日1000ccを目安に、ご本人様の嗜好に合わせた水分形態をとりつつも、水分量が安定するように細やかな言葉かけに努めている。</p> <p>状況に応じて、排泄を促すように薬の活用にも努めている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>ご本人様のご希望に沿えるように言葉かけをさせていただきながら、午前浴を基本とし入浴を週2～3回、ご提供できるように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項 目(桜フロア)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>日々の生活の中で、適度な運動 を促し過度にならない様に、休 息時間も確保し安眠に繋がるよ うに努めている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	<p>事業者内の勉強会で、ご利用者 様の内服薬の把握に努めながら、 状況変化などがあつた際には、 かかりつけ医・看護師へ報告し 対応に務めている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。</p>	<p>ご利用者様の生活史からの楽し みに合わせて、中庭の野菜づく りや家事分担などのやりたいこ とに、取り組んでいたような支 援に努めている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそ つて、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地域 の人々と協力しながら出かけら れるように支援している。</p>	<p>ご本人様の思いを基に、近所の スーパーへの外出支援、行事へ の参加など、ご本人様が求めら れる希望に寄り添いながら、外 出支援に努めている。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。</p>	<p>嗜好品等の購入の為、地域のス ーパーに出向き、ご本人様の思 う嗜好品の購入ができるように 、支援をしている。いつでも外 出できるように、ご家族様より 預り金をさせていただいたりし 、気軽に出向けるように努めて いる。</p>		

自己評価	外部評価	項 目(桜フロア)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご本人様からの希望に寄り添い、ご家族様やお知り合いなどに連絡を取る機会もある。 ご本人様から、依頼されると代筆なども支援している。 ご本人様宛のお手紙などは、ご依頼があれば代読などもさせていただいている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	玄関や中庭からなど適度な自然光を取り入れながら、またご家庭で生活をされておられた環境により近づけるように、居室や浴室なども光には配慮している。電車などの音が時折聞こえるが、芸備線地区の方もおられ、親しまれた音を感じることもできている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	お一人になりたい際には、ソファやお気に入りの椅子などに腰掛けられるような、空間づくりを行っている。お食事の席が、決まっていることとお一人お一人のスペースを確保することにより、顔馴染みの方との会話も楽しめるようにと努めている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ご利用者様が思いをもたれていた家具や仏壇などを居室に置かせていただく事で、ご自分の安全で安心していただけるスペースとして、過ごしていただけている。ベッドが苦手な方には、畳で敷布団での生活をしていただいたり、ご本人様への生活史に寄り添うように努めている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	ご利用者様一人ひとりの身体状況を把握し、動線には危険なものは置かない様にするが、殺風景にならない様に適度な物の配置をしている。 ご利用者様の状況により、事業者会議やフロア会議などで配置も検討しながら、より良い環境づくりに努めている。		

V アウトカム項目(桜フロア) ← 左記()内へユニット名を記入願います

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム樹

作成日 平成31年4月29日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	1 3 ・ 1 4	職員の自己覚知に繋がる研修への参加が出来ていない。	研修に参加をする。	職員の能力、経験等により、適切な研修に参加して頂き、自己覚知をはかる。	1年以内
2	2	地域との関わりを深めていきたい。	地域貢献を行う。	事業所行事へのお誘い。 地域業への参加。	1年以内
3	3	家族会の継続。	より多くのご家族様にご参加していただく。	ご家族様へのお声掛けや家族会の内容を検討する。 (ご家族さまの興味のある事など)	1年以内

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。